

[TOP page](#)
[資料室](#)
[イベント情報](#)
[講師を探す](#)
[Worker's 広場](#)
[関連リンク](#)

## 資料室


[HOME](#) | [資料室](#) | [一般教養](#) | [語り部スキル](#) | [教育における動機づけ](#)
[労働組合](#)
[労働者福祉・共済](#)
[一般教養](#)
[社会保障](#)
[労使トラブル法律相談Q&A](#)
[労働関係法](#)
[経営全般](#)
[人間関係とコミュニケーション](#)
[ライフプラン](#)
[男女共同参画](#)
[公務員関係法](#)
[日朝の歴史](#)
[7つの習慣](#)
[中東の歴史](#)
[ボランティア活動](#)
[環境活動](#)
[社会貢献活動](#)
[自己啓発](#)
[生涯学習](#)
[外交・防衛問題](#)
[資本論](#)
[教育カリキュラム](#)
[日本国憲法](#)

### 教育における動機づけ

学校教育に限らず、教育のあらゆる場面において、受講生（生徒）のやる気が一番大切だということは常識である。

しかし、やる気を持たせること、すなわち「動機づけ」については、大切さは分かっているが、どのようにすれば高めていけるのかは難しいところだ。

動機づけについて理論的に整理してみると、「外発的動機づけ」と「内発的動機づけ」にわかれる。

外発的動機づけとは、例えば、賞罰などの外的な目標によって引き起こされるものだ。

具体的には、「成績が上がると〇〇がもらえる」「先生や上司にほめられる」というようなものだ。

内発的動機づけとは、「そうだったのか、なるほどなるほど」「もっと知りたい」という感情の動きである。

もちろん、両者ははっきりと二分できるものではなく、両立することもある。

ただし、あまり外発的動機に偏ると、内発的動機づけを抑制してしまうが、外発的動機づけが内発的動機づけを喚起することもあるから、バランスの問題も考えよう。

外発的動機づけがまったくない状態でも、内発的動機づけのみで学習がすすめば問題はないが、そんな生徒ばかりなら苦労はいらない。

単純に言うと、内発的動機づけとは、お金のためでもない、怒られないためでもない、その活動がしたいからするという動機づけだ。

たとえば、一銭の得にもならない趣味の活動などは、内発的動機づけによる典型的な活動である。

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

**Worker's Library 会員登録**  
お申し込みはこちらです。

[>>一覧へ戻る](#)

傾聴

語り部スキル

🔍 キーワード検索はこちら

🔍 サイトマップ 🔍 このサイトについて 🔍 個人情報保護の取組みについて

🔍 ページTOPへ

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's広場

関連リンク

Worker's Library 静岡で働く人のための資料閲覧サイト  
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE 【ワーカーズ・ライブラリー】

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.